

全国老人保健施設連盟 加入のお願い

介護老人保健施設と
社会保障制度の未来のために

老健連盟とは

【目的】

全老健が公益法人であるため制限を受けている政治的活動を行い、政治的側面から介護老人保健施設を支援する。

名 称：全国老人保健施設連盟（老健連盟）

設 立：平成13年2月7日

委員長：手束昭胤（徳島県・介護老人保健施設喜久寿苑理事）

会員数：A会員1,259名、B会員347名（平成27年3月31日現在）

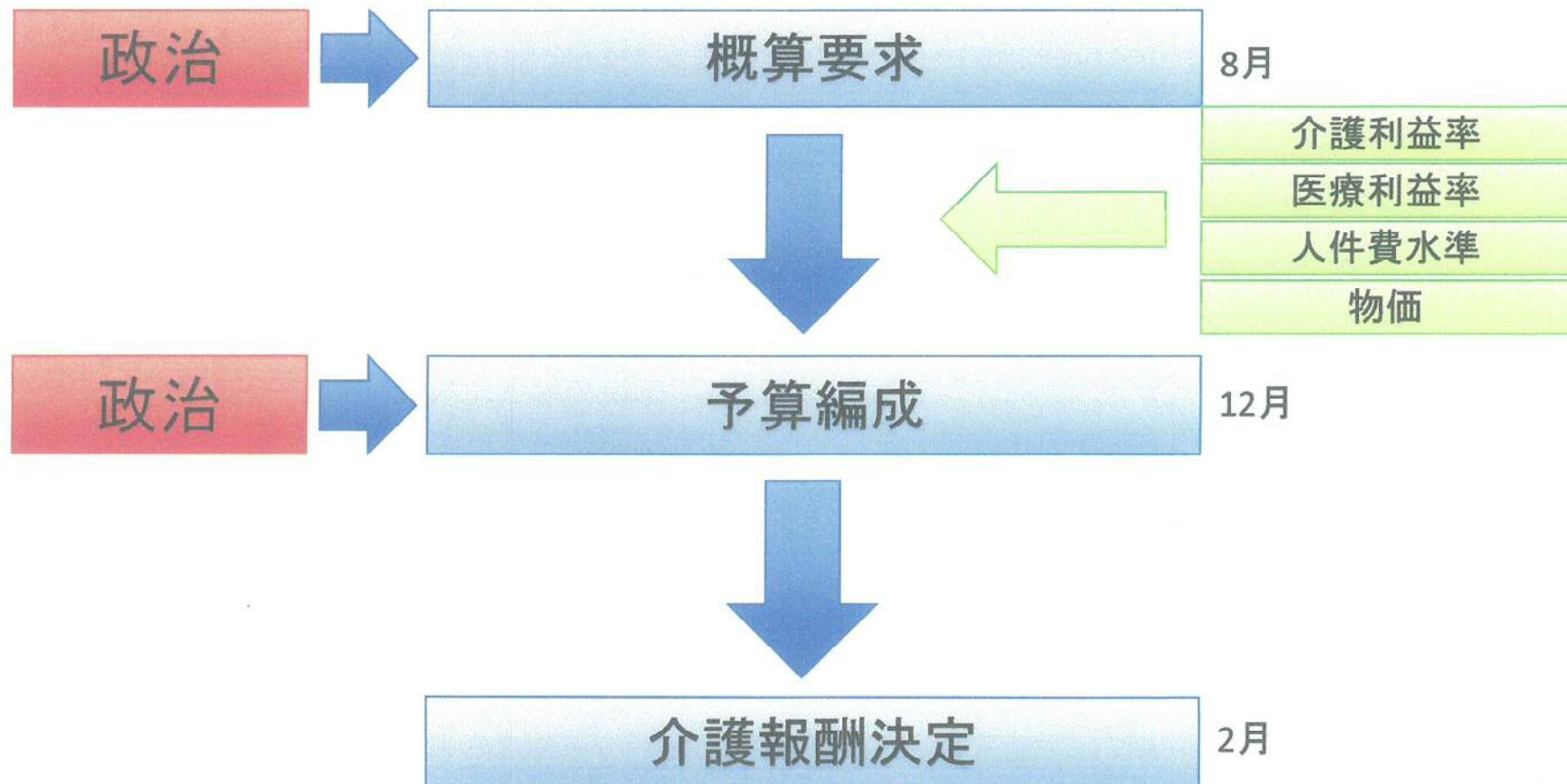
公益社団法人 全国老人保健施設協会は政治活動を行えない



介護職員の処遇を改善するためには介護報酬を決定している政治・行政に要望を伝えなければ変わらない。

政治と介護の関係

介護報酬が決まるまで



活動内容

全国50万人の要介護高齢者と
介護職員が最低限の生活基準を保ち
高齢障害者と生活をともにし
社会保障に貢献する誇りを持って生活出来るために

政権与党へ「介護老人保健施設についての要望事項」「予算・税制改正要望書」を提出・陳情

老健の課題を理解し、行動する国政選挙候補者を
応援

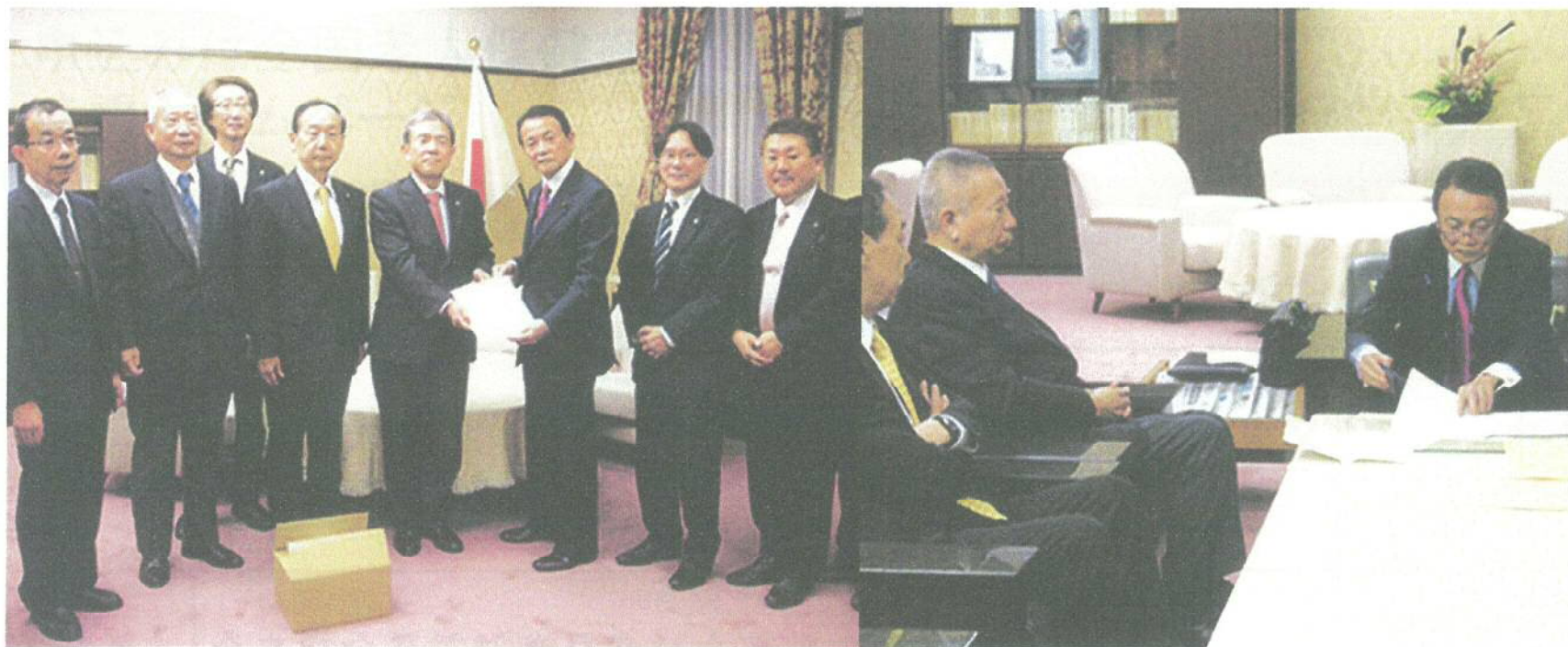
介護職員の生活を守る緊急全国集会

平成20年6月5日「介護職員の生活を守る緊急全国集会」
参加3,051名（日比谷公園大音楽堂）



署名活動

140万筆超の署名と「老健施設の利用者へのサービスの質を確保し、介護従事者の処遇改善が可能になるような介護報酬改定の要望書」



多くの方の参加を

会員増強にご協力下さい！

情報発信に努めます。

皆様の意見を求めています。

政治に対する知識・興味・行動が介護職員の処遇を改善に繋がります。

介護職員ひとり一人の活動が明日の社会保障を作ります。

連盟への加入をお願いします。